

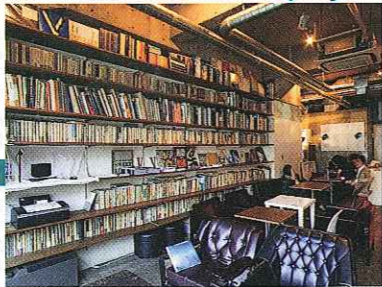
隠れ家的大人のカフェ  
**Rainy Day Bookstore & Cafe**  
 レイニーデー・ブックスストア・アンド・カフェ/東京・西麻布

「SWITCH」や「Coyote」などの雑誌を発行する出版社スイッチ・パブリッシング直営のカフェ。駅から離れていることもあり、隠れ家的な静かな空間で、一人で訪れる男性客が多い。「人」や「旅」をテーマにした選書は3000冊ほど。著名な作家や写真家が影響を受けた旅の本が目立つ。「客が読んでいる本を見てBGMを選ぶことも」と店長の林下英治さんは言う。

**Data**

東京都港区西麻布2-21-28 スイッチ・パブリッシングB1  
 ☎03-5485-2134  
 ◎12:00~21:00(20:30LO)、土曜12:00~18:00(17:30LO)  
 ◎日曜・祝日 ※土曜不定休  
 ●ランチは日替わり(1000円)のみ、「ドライカレー」(1500円)。「コーヒー」(500円)など  
 ●地下鉄銀座線、千代田線、半蔵門線「表参道」駅から徒歩15分

上/スイッチ・パブリッシングの地下にあり、「人」や「旅」をテーマにした良書が並ぶ。「SWITCH」や「Coyote」のバックナンバーを買いに来る20代も多い。左/コーヒーは、良質な豆を扱う「堀口珈琲」の豆を使用。注文を受けてから豆をひくこだわりあり。「Coyote」最新号ではハワイや海をテーマにした特集を組んでおり、それと連動したブックフェアを開催



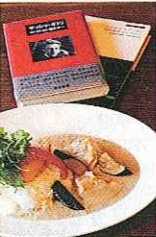
目黒川沿いで古書を楽しむ  
**Combine books & foods**  
 コンバイン・ブックス・アンド・フーズ/  
 東京・中目黒

目黒川沿いにある古書が並ぶカフェ。東京・下高井戸で古書店「バラ」を経営していたオーナー・柏木光二さんが4年前にオープンした。建築や映画関係、アート本から哲学書まで幅広く、読む人の心に残る選書を心がけているという。ゆったり本を読むには昼から夕方のお勧め。

**Data**

東京都目黒区中目黒1-10-23 リバーサイドテラス103  
 ☎03-3760-3939  
 ◎12:00~翌4:00(日曜~翌2:00)、無休  
 ●「コーヒー」500円など  
 ●地下鉄日比谷線、東急東横線「中目黒」駅から徒歩5分

上/目黒川沿いから入る採光が明るい店内。気に入った古書は購入できる。下/手前は人気のランチメニュー「鶏肉と野菜のグリーンカレー」(1000円)



心が和む町屋ブックカフェ  
**Cafe' bibliotic Hello!**  
 カフェ・ビブリオティック・ハロー/  
 京都・京都市役所前

京都市内にある呉服店だった町屋を改装したブックカフェ。図書館をイメージし、天井まである本棚に並ぶ約2000冊の本はインテリアや料理、エコなど読んでいて心が和むセレクト。客層は地元住民から海外の観光客まで様々。これからの季節、箱庭からの風に当たりながら読書するのが気持ちいい。時間を忘れて長居しそっだ。



左/雑誌のバックナンバーが豊富。アート系が充実し、老若男女問わず、楽しめる書店。下/ビールやワインなどを片手に、本を読む20代のビジネスパーソンも多い。ビール5種以上500円~



**Data**

大阪府中央区西心斎橋2-2-12 クリスタグラ  
 ドビル1F、B1  
 ☎06-6484-2239  
 ◎11:00~22:30(22:00LO)、日祝~

22:00(21:30LO)、無休  
 ●「ホットドック」(450円)、「チキンカレー」(700円)、「スコーン」(2個 300円)、「コーヒー」(330円)など  
 ●地下鉄御堂筋線、長堀鶴見緑地線「心斎橋」駅から徒歩8分

お酒を飲みながら本を選ぶ  
**Standard Bookstore cafe**  
 スタンダード・ブックスストア カフェ/大阪・心斎橋

大阪ミナミのアメリカ村にあるブックストア。地上1階、地下1階合わせて250坪の敷地には約6万冊の書籍や雑誌のほか、センスのいい雑貨や文具も並び、何時間いても飽きない空間。テーマごとにビジネス書や哲学書、小説、絵本などのジャンルを超えた本の配置が特徴だ。書店と併設したカフェには売り場の本を購入前に持ち込むことができ、コーヒーを飲みながらゆっくり検討できる。



本好きが集うブックカフェ

ゆつくりと本を選びながらコーヒーやお酒が飲める書店併設のカフェや、京都の町屋を改造した雰囲気あるブックカフェ。つつい長居してしまおうような心地よい読書時間を提供してくれるお薦めのブックカフェを紹介する。

会員数1500人! 日本最大級の読書クラブ

読んだ人しか参加できない  
 ハードルの高さが人気の秘密

「名古屋アウトプット勉強会」は、会員数1500人を超す日本最大級の読書クラブだ。発足は3年前。住宅リフォーム会社を経営する山本多津也さんが友人と4人でビジネス書の読書会を始めた。翌年、交流サイトの「mixi」で会の告知を始めたところ、会員が急増。今では、ビジネス書の読書会のほか、文学や洋書を読む会など、様々な支部活動も盛んだ(下表参照)。

文学作品の読書会をのぞいてみた。平日の夜、貸し切りのジャズ喫茶に、およそ60人の男女が集まる。課題本3冊のうち、どれかを読んでもらうのが参加の条件。同じ本を選んだ人同士で7~10人ほどのグループに分かれ、感想

を話し合う。この日、一番人気だった課題本は、文豪・川端康成の「眠れる美女」。前後不覚に眠らされた、美しい裸の娘と一夜を過ごせる不思議な宿。そこに通い詰めるのは、既に「男」ではなくなった老人たち……

「このエロじい」と、腹が立った。幼い娘を持つ母親として、到底、共感できない」と憤る女性もいれば、「艶っぽい文章に魅せられた」と話す若い女性もいる。20代の男性からは、「男が年老いて性的不能になった時、どうすればいいのか」という問題提起があった。会を主宰する山本さんは「正しさを求めて、相手の意見を否定する流れに

ならないように注意している。同じ本でも人によって読み方は全然違って、自分はずまらないと思った本を「面白い」と言う人がいる。その人に「なぜ」と聞けば、「なるほど」と思うような答えが返ってくる。その繰り返しで人間の幅が広がる」と話す。

参加者は20~30代が中心。「普段、しなくてもできないような話ができる」。そう言うのは、ドラッグストアで働くけんさんと(仮名、30歳男性)。「自分はビジネス書も小説もよく読むけど、同僚は多分そうでもない。異業種交流会に出たこともあるけれど、会話が浅い。この会は、本を読んでもらうのが大変な分、会話の中身が濃くて刺激になる」。



この日の3冊



「名古屋アウトプット勉強会」の概要

URL  
[http://c.mixi.jp/output\(mixi内\)](http://c.mixi.jp/output(mixi内))  
<http://www.yamamoto-housing.com/reading/>  
 問い合わせ先  
 ☎052-774-3150  
 nekomachiclub@gmail.com  
 主な支部  
 ●文学サロン月曜会: 文学作品に特化した読書会  
 ●文学サロン月曜会HARUKI: 村上春樹の著作を読む会

- 文学サロン月曜会シニア: シニア世代のための文学作品の読書会
- ブック・クラブ: 洋書の読書会
- 名古屋アウトプット経済学部: 経済書の読書会
- マネジメント研究会: ドラッカーなどマネジメントの本を読む会
- 日本文化研究会: 世阿弥の「風姿花伝」など日本文化に関する本の読書会
- 東京支部: 東京で開いているビジネス書の読書会
- 福岡支部: 福岡で開いているビジネス書の読書会



主宰者の山本多津也さん。リフォーム専門店、山本ハウジング社長を務める

課題本は通常、主宰者の山本さんが1冊選ぶが、この日は特別に、音楽や舞台のプロデューサーとして活躍する立川直樹さんが3冊推薦した。川端康成の「眠れる美女」(新潮文庫、420円)と谷崎潤一郎の「美食倶楽部」(ちくま文庫、1050円)、小泉八雲の「怪談・奇談」(講談社学術文庫、1418円)